



自民党・無所属 大阪府議団だより

第115代大阪府議会副議長

しかた松男 議員は

豊かで安心・安全な
発展する大阪の実現に取り組めます。



PROFILE

大阪市城東区選出

昭和37年3月5日生まれ。大阪府議会議員、警察常任委員会委員。自民党城東区支部顧問。
自民党城東区第三支部長、自民党府連党紀委員長、保護司、社会福祉協議会役員、城東地車聯合会長、摂河洲地車聯合会長、府立港高校みなと会会長。
ヘルパー2級、一般財団法人親学推進協会親学アドバイザー、空手2段(極真会館関西本部)。<http://www.m-shikata.jp/>

サイバー犯罪の状況について

Q しかた議員

今や幅広い世代の方がインターネットを利用して、テレワークやオンライン形式の会議・授業といった新しい生活様式が取り入れられるなど、その利便性は飛躍的に向上し、私たちも大きな恩恵を受けております。このような中、実在の企業になりすまし、メール等で偽サイトに誘導し、個人情報盗む「フィッシング詐欺」に関する相談は急増しており、府民のインターネット空間に対する不安も日に日に増大しているように思われます。そこで、検挙件数が増加している大阪府下におけるサイバー犯罪の現状と被害防止に向けた取組について要望します。

要望！

インターネットが、国民生活や社会経済活動に深く浸透する中、私たち一人一人のインターネットに対する正しい理解が重要になっております。またコロナ禍で活動に様々な制限がある中で、創意工夫して府民への広報啓発活動を行っていただくとともに、大阪府警察におかれましては、引き続き、府民への広報啓発活動や大学生ボランティアと連携した効果的な防犯教室を実施していただくとともに、大阪府と緊密に連携し、オール大阪体勢でサイバー犯罪の被害防止に向けた取組を積極的に推進していただきますよう、お願いします。

交通安全施設の整備について

令和元年度の交通安全施設と道路標識・道路標示の整備事業費

Q しかた議員

地元城東区でも色あせて判読しづらい道路標識や道路標示を見かけるが、近年、安全運転支援システムを搭載した車両も標準化装備されてきており、道路標識や道路標示の適正な維持管理はますます重要になってきている。令和元年度における交通安全施設整備事業費の総額及び、道路標識と道路標示の整備事業費について問う。

A 地域部長

交通安全施設整備事業費等の当初予算額は約71億5千万円となっており、前年度とは比べて約6千万円の減少。合計で約5千万円の減少となっております。

道路標識や道路標示の維持管理は重要、劣化を把握し計画的に更新を

Q しかた議員

道路標識や道路標示の維持管理は重要で、劣化した道路標識や横断歩道が長期間放置されれば、交通事故を招くおそれもあり、早期に把握して計画的に更新することが必要だ。道路標識や道路標示の更新の進め方と具体的な点検方法を問う。

A 地域部長

標識・標示の更新は経過年数、道路標識の色あせや道路標示の摩耗等の損傷状況などを勘案しつつ更新を進めており、その点検方法は、道路標識は色あせ等の目視による点検と打音検査による腐食状況の点検、道路標示は摩耗や剥離を目視による点検で行っています。

道路標識の更新箇所数、横断歩道の更新状況は？

Q しかた議員

令和元年度における、道路標識の更新箇所数及び、道路標示の中でも歩行者の安全確保のために特に重要であると考えられる、横断歩道の更新状況はどうか。

A 地域部長

道路標識については、約5千1百箇所を更新、横断歩道の更新は約3千本です。

交番相談員の受傷事故防止対策について

Q1 しかた議員

先月、埼玉県内の交番で「交番相談員」の男性(65)が落とし物をしたと装って交番を訪れた男に刃物で刺され重傷を負う事件が発生しました。私の地元・城東区内の交番でも、交番相談員が勤務しているのをよく見かけますが、大阪府警で活動されている交番相談員の数や勤務の内容など活動の状況について伺いたい。

A1 地域部長

交番相談員は、警察官としての知識や経験を有する警察官を退職した者417人を交番に配置しています。交番相談員は、交番において、地理案内や、落とし物の取扱い、被害届の代書などを行うほか、登下校時に小学校周辺の通学路において見守り活動などにも従事しております。現在、413交番に配置しております。

Q2 しかた議員

交番勤務員に対する受傷事案は一昨年に大阪でも吹田警察署の交番勤務の警察官が勤務中に、突然、男に襲われるという事件が発生したのはまだ記憶に新しいところです。「交番」は、地域住民にとっての安心・安全の象徴であることから、二度とこの様な事件が起こってはならないと誰もが思っているところです。交番相談員については、装備や訓練を警察官と同じレベルまで充実することは困難であると思いますが、これを補い、交番相談員を守るために取り組んでおられる施策について伺いたい。

A2 地域部長

交番相談員には、勤務中は常に警察官と同じような防犯チョッキや催涙スプレーを着装させているほか、警棒も携帯させています。また、警察署の術科指導者を実際に交番に派遣して、より実戦的な交番相談員の訓練に取り組んでいるところです。



Q3 しかた議員

大阪府警では、一昨年の交番への襲撃事案を受け、各種の受傷事故防止に関し、ハード・ソフト両面にわたって対策の強化に取り組まれたことと思いますが、具体的にはどのような対策に取り組まれたのか、伺いたい。

A3 地域部長

ハード面では、勤務員の安全確保及び不審者の早期発見のため、交番の敷地内のみならず交番の外周も広く撮影できる防犯カメラを、合計646か所の交番・駐在所に設置いたしました。更に、交番の入り口で来訪者を感じ取るセンサー式チャイムを、交番・駐在所に設置したほか、建物の周囲で人の動きに反応して点灯するセンサー式ライトを137交番に設置しました。次に、交番等勤務員の夜間帯における複数による勤務体制の拡大や防犯チョッキの24時間着装を義務付けるなどしたほか、交番の襲撃事案を想定したロールプレイング方式による訓練や講習会を開催し、また、視聴覚教材を作成・配信する等しています。

要望！

ハード・ソフトの両面で、交番で勤務する警察官や交番相談員の受傷事故防止対策に取り組んでおられることがよくわかりました。最後に、交番相談員の安全確保はもとより、警察官不在中の交番を守ってくれている交番相談員が地域住民のために益々活躍できるよう、働く環境を整備していただくことを強く要望します。